

夏休み！海と船の工作ひろば

～思い出の夏をつくろう～

開催報告書

船の科学館

1. 事業名

「夏休み！海と船の工作ひろば～思い出の夏をつくろう～」

2. 開催目的

参加された家族全員にとってこの夏休みが「思い出の夏」となるよう企画を行い、「船の科学館での工作の思い出」をきっかけとして海や船に対する興味や関心を高めることを目的として開催した。

3. 開催日時

平成20年8月1日～31日 10時～18時

4. 開催場所

船の科学館 本館 1階 オーロラホール

5. 主催

船の科学館

6. 参加者数

総合計 8,955名 内訳 別紙参照

7. 広報活動

新橋駅における横断幕、B1サイズのポスターを22箇所に掲出、B2サイズを950箇所を送付。チラシを8,000枚配布するなどにより広報に努めた。

8. 所感

本年は「思い出の夏をつくろう」をテーマに、ご両親にとっても子ども達にとっても「思い出の夏」となるよう、親子の会話が弾むための努力をいたしました。そのため「作って遊べるペーパークラフト」や「ゴム動力の船」では、来館者が自由に装飾できる企画にすることで、親子の会話を促しました。また「トウケン先生の実験教室」では、遠慮がちなご両親に対しても参加を呼びかけ、子ども達と同じ体験をしていただくよう促しました。

北島康介選手が、大人になった今でも、初めて行ったプールである当館のプールでの思い出を語るように、今年来館した子ども達が大人になった時に、自分の子ども達に「思い出の夏」として当館での思い出を語ってくれれば、この企画は成功したといえると思います。

今年の反省点は、当館で一番多い低年齢層に合わせた工作が少なかった点が挙げられます。低年齢の来館者が楽しめる工作を数種類用意すべきであったと反省いたします。尚、個々のコーナーにおける所感はコーナー別に述べることにします。

①作って遊べるペーパークラフト

時 間：11:00～ 約40分

参加料：200円

定 員：30名

厚紙をヘリコプターの形に切り抜き、紙と竹ひごでできた竹とんぼと合わせれば完成する「出勤！ヘリコプター」と、厚紙とストローとタコ糸でできる「それ行け！レスキュー隊」の2種類からなる紙工作のコーナーを設置した。企画展「海をまもる」にちなむ。

開始時刻が11時と早かったため集客に苦勞した。また参加料200円という料金設定は高かったのではないかと思われる。

②ふわふわフェルトのビーバー

時 間：13:30～ 約1.5時間

参加料：200円

定 員：15名

羊毛を使い、ニードルパンチという特殊な針で形を作っていくコーナー。船の科学館には以前にビーバーランドがあったことにちなむ。

今年で3回目となる人気コーナーであることから今年も採用した。去年は閉館時刻に間に合わない参加者が多く見受けられたため、今年開始時刻を早めた。また去年は25名定員であったため指導が行き届かず、上出来とは言えない作品が多く見受けられたことから、今年定員を15名とした。このことにより、特に後半は上出来に仕上がった作品が多く見受けられ、満足度は高かったと思われる。

③ゴム動力の船

時 間：15:30～ 約1.5時間

参加料：200円

定 員：25名

工作ひろば始まって以来人気のコーナー。今年一枚のバルサ材を自由に加工して装飾を作る形式にしたことから、若干去年より怪我が増えたが、親子協力して制作する割合が増え、初期の目的を達することができたと思われる。

④ペーパークラフト

時 間：10:00～18:00

参加料：無料

定 員：なし

船の科学館の顔とも言える、本館展示場入口に飾ってある「弁才船“住吉丸”」、まだ記憶に新しい「二式大型飛行艇」など、船の科学館にまつわる、親子の対話がはずむ素材のペーパークラフトのコーナーを設置した。

⑤幼児コーナー

時 間：10：00～18：00

参加料：無料

定 員：なし

地球型クッションやお絵かきの道具を用意し、工作に疲れた幼児たちがちょっと息抜きできるよう設置した。

⑥実験コーナー

「トウケン先生の実験教室」

時 間：13：00～、15：00～ 各回約30分

参加料：無料

定 員：なし

ビニール袋に腕を入れて、水を張った容器（今回はペールを利用）に入れると水圧を感じることを利用し、浅いところと深いところの水圧差から浮力を説明。また大気圧も水圧も“圧力のかかりかた”という点では同じということを説明の上、さまざまな実験を行い理解の促進に努めた。

昨年は実験項目が少なく、参加者が途中から次第に減っていったが、本年は多くの実験を採用したことから、逆に参加者が増えていった。来年もこの手法を継承していきたい。

「鐵の学校」（特定非営利活動法人 鐵の学校）

日 程：8月9日、10日

時 間：①11：30～、②13：00～、③16：00～ 各回約1時間

（10日については①②の二回のみ実施）

参加料：無料

定員30名

参加者全員がぼんぼん蒸気船を作り、実際に動かしてみる実験や、沈むはずの重い鉄板も、組み合わせて容器の形にすれば水に浮く実験などを行い、大型紙芝居を使って解説を行った。

「浮いているもののふしぎ」（横浜国立大学 大学院 准教授 村井 基彦氏）

日 程：8月16日

時 間：12：30～、16：00～ 各回約30分

参加料：無料

定 員：なし

パワーポイントを使って船のQ&Aを行い、また同じ体積の木材でも、形によって載せられる重さが違うことの実験を行った。

① 作って遊べるペーパークラフト



② ふわふわフェルトのビーバー



③ ゴム動力の船



④ ペーパークラフト



⑤ 幼児コーナー



⑥ 実験コーナー

「トウケン先生の実験教室」



「鐵の学校」



「浮いているもののふしぎ」

